

平成 27 年度

年 報

ANNUAL REPORT

VOL.20



島根大学産学連携センター

— 松江地区 —

Collaboration Center, Shimane University

本年報について

本年報は、主に、平成 27 年度における島根大学産学連携センター松江地区に関する活動についてまとめたものです。

島根大学産学連携センター（松江地区）
平成 27 年度年報目次

1	産学連携センターの紹介	1
1-1	構成	2
1-2	スタッフ一覧	3
2	産学連携センター（松江地区）の産学連携活動	5
2-1	主催事業	6
2-1-1	学生による研究発表会&産学交流会	6
2-1-2	山陰(鳥取・島根)発 新技術説明会	8
2-1-3	平成 27 年度しまね地域 MOT セミナー「顧客価値と技術から展開する新商品・事業開発手法」初級編・中級編	11
2-1-4	平成 27 年度島根大学知的財産セミナー「知財一般知識と大学における知財留意点」	13
2-2	後援事業	14
2-2-1	産学連携学会 関西・中四国支部 第 7 回研究・事例発表会	14
2-3	イベント等での研究シーズ発信	15
2-3-1	イノベーション・ジャパン 2015	15
2-3-2	第 5 回おおた研究・開発フェア	16
2-3-3	ビジネスマッチング商談・展示会 2015in 出雲	17
2-3-4	出雲産業フェア 2015	17
2-3-5	アグリビジネス創出フェア 2015	18
2-4	他機関との連携促進・技術動向に関する情報収集活動	19
2-4-1	平成 27 年度中国地域産学官連携コンソーシアム運営会議	19
2-4-2	一般社団法人コラボ産学官 第 7 回本部通常総会・記念講演会	19
2-4-3	産学連携学会第 13 回大会	20
2-4-4	平成 27 年度島根県産業技術センター研究成果発表会	20
2-4-5	プラズマ技術研究開発センター 第 1 回公開セミナー『プラズマ表面改質技術』	21
2-4-6	平成 27 年度中国・四国地区国立大学法人地域共同研究センター等センター長会議	21
2-4-7	日立金属冶金研・島根大学たたらナノテクプロジェクトセンター情報交換会	22
2-4-8	第 28 回国立大学共同研究センター等教員会議	22
2-4-9	JST マッチングプランナー事業説明会	23
2-4-10	第 27 回 国立大学法人共同研究センター長等会議	24
2-4-11	平成 28 年度新産業創出研究会の事前説明	24
2-4-12	日本農芸化学会中四国支部創立 15 周年記念 第 20 回若手研究者シンポジウム	25
2-4-13	慶尚大学校 来訪	25
2-4-14	産学連携学会 平成 27 年度秋季シンポジウム「オープン・イノベーション～企業文化変革への挑戦～」	25

2-4-15	しまね大交流会&キックオフセミナー	26
2-4-16	グローバル知的財産戦略フォーラム 2016	26
2-4-17	第 23 回「地域を活かす科学技術政策研修会」	27
2-4-18	第 64 回島根大学サイエンスカフェ「やさしい栄養学と健康茶の研究事例」	27
2-4-19	島根県鑄造関連産業振興協議会 第 8 回個別テーマ研究会	28
2-4-20	輸出管理 DAY for ACADEMIA 2016	28
2-4-21	国立大学法人共同研究センター西日本ブロック専任教員会議	29
2-4-22	島根大学平成 27 年度事業・研究成果報告会	29
2-4-23	平成 27 年度環境リサイクル交流会	30
2-4-24	白砂青松再生の会 10 周年記念大会	30
2-4-25	西日本工業大学 第 2 回地域連携セミナー	31
2-4-26	平成 27 年度文部科学省事業「産学官連携リスクマネジメントモデル事業」シンポジウム	31
2-4-27	産学金官連絡情報交換会	32
2-4-28	島根大学・ごうぎん 情報交換会	32
2-5	各種外部委員活動等	33
2-6	産学連携センターコーディネートによる競争的資金採択	34
2-6-1	公益財団法人ちゅうごく産業創造センター平成 27 年度新産業創出研究会	34
2-6-2	公益財団法人しまね産業振興財団「技術革新支援総合支援事業」	34
2-7	広報活動	35
2-7-1	島根大学研究シーズ集 追加作成	35
2-7-2	メール配信	35
3	平成 27 年度科学技術相談（松江地区の担当分）	37
4	平成 27 年度共同研究	39
5	知的財産（特許）	41
	〔特許出願件数〕	42
	〔公開特許一覧〕	42
	〔J-STORE, 開放特許情報データベース登録件数〕	46
6	平成 27 年度産学連携センターに関する報道・主な記事	47
7	産学連携センター地域産業共同研究部門 研究設備の紹介	49
	〔原子間力／磁気力顕微鏡〕	50
	〔走査型電子顕微鏡〕	50

1-1 構成

「産学連携センター」は、島根大学における産学連携活動の中核を担っており、企業からの科学技術相談や共同研究などの企画・推進に加え、プロジェクト研究の企画・推進の強化や特許などの知的財産の創出・活用の推進を主な業務としています。

これらの活動を円滑に行うために、①「地域産業共同研究部門」、②「地域医学共同研究部門」、③「連携企画推進部門」、④「知的財産創活部門」の4部門があります。

各部門に部門長と専任教員を配置するとともに、産学官連携コーディネーターや客員教授など外部の専門家の協力を得て、産学連携活動を展開しています。特に、全国でも数少ない医学系に産学連携の専任教員を配置していること、そして、産学連携のリエゾン活動から知的財産の活用までの活動を一つの組織で推進していることが、大きな特色です。

【地域産業共同研究部門（松江地区）】

【地域医学共同研究部門（出雲地区）】

科学技術相談への対応や企業等との共同研究等の企画や推進を行っています。

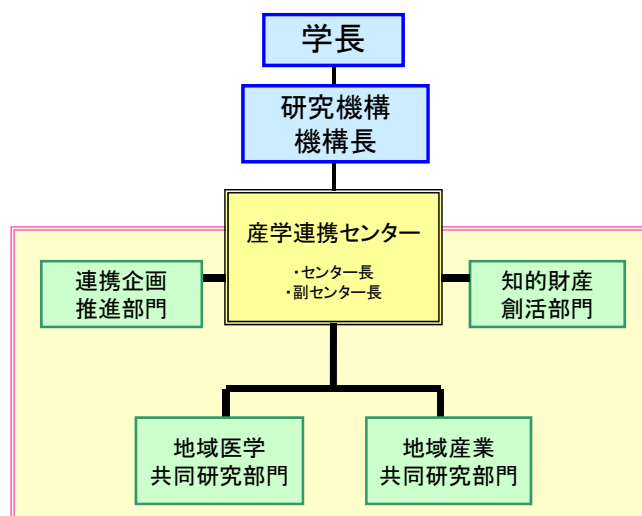
地域産業共同研究部門では、特に地域の産業界との共同研究を主眼において、また、地域医学共同研究部門では、特に地域の医学、医療、福祉に関する共同研究を主眼において活動しています。

【連携企画推進部門】

産学連携センターの各部門及び各学部との強固な連携の元に、大学の研究戦略や地域の産業振興戦略と歩調を合わせた、研究プロジェクトの企画・推進及び大型の外部研究資金の獲得に向けたリエゾン活動を展開しています。

【知的財産創活部門】

大学で創出される研究成果などの知的創造資産を、特許などの知的財産に結びつけ、社会での活用を促進しています。



島根大学における産学連携推進体制

1 産学連携センターの紹介 / スタッフ一覧

1-2 スタッフ一覧

職種	氏名（所属）
センター長	大庭 卓也（総合理工学研究科 教授）
副センター長	並河 徹（医学部 教授）
特任教授	池淵 昇平（前：ごうぎんキャピタル株式会社 代表取締役社長）
産学官連携コーディネーター	芦矢 嘉郎（島根県商工労働部産業振興課）

【地域産業共同研究部門】

職種	氏名（所属）
部門長	増永 二之（生物資源科学部 教授）
産学連携マネージャー（共同研究担当）	北村 寿宏（教授，専任教員）

【地域医学共同研究部門】

職種	氏名（所属）
部門長	並河 徹（医学部 教授）
産学連携マネージャー（共同研究担当）	中村 守彦（教授，専任教員）

【連携企画推進部門】

職種	氏名（所属）
部門長	大庭 卓也（総合理工学研究科 教授）
産学連携マネージャー（連携企画担当）	丹生 晃隆（准教授，専任教員）（～H27.9）
	服部 大輔（准教授，専任教員）（H28.2～）

【知的財産創活部門】

職種	氏名（所属）
部門長	山田 容士（総合理工学研究科 教授）
産学連携マネージャー（知的財産担当）	阿久戸 敬治（教授，専任教員）

【支援スタッフ】

松江地区	林 由佳，上田 由美子
出雲地区	山崎 享子，野津 香織

【客員教授】

担当分野	氏名（現職等）
コーディネート活動 共同研究企画	吉野 勝美（島根県産業技術センター 所長）
コーディネート活動	金山 信幸（有限責任事業組合プラズマ技術研究開発センター 代表）
コーディネート活動	山崎 幸一（前：島根県産業技術センター 研究企画監）
コーディネート活動	伊藤 正和（和鋼博物館 館長）
コーディネート活動	大森 健一（東京工業大学 特別顧問）
広域コーディネート活動	小金 民造（K－a r i n 2 1 代表）
MOT 教育 起業支援	出川 通 （株式会社テクノ・インテグレーション 代表取締役）
知的財産権関連	田辺 義博（田辺特許商標事務所 所長 弁理士）
知的財産権関連	中野 睦子（三枝国際特許事務所 弁理士）

2-1 主催事業

産学連携の第一歩として、研究成果を産業界の方々に知っていただく必要があります。

当センターでは、このような目的から、産業界の方々向けに各教員の研究成果を紹介する場を企画し実施しています。

平成 27 年度に当センターが主催として、企画実施した事業を以下に紹介します。

2-1-1 学生による研究発表会&産学交流会

日時：平成 27 年 6 月 3 日(水)14:00～16:30

会場：島根大学総合理工学部 3 号館 2 階多目的ホール

主催：島根大学産学連携センター

島根大学総合理工学研究科附属産学官教育推進センター

島根大学生物資源科学部地域連携室

共催：島根県

公益財団法人しまね産業振興財団

島根大学地域課題学習支援センター

【概要】

企業の皆さんに、本学の学生の皆さんが日頃行っている研究について紹介し、参加者間で意見交換できるように「学生による研究発表会&産学交流会」を企画し実施しました。

当日は、学外から約 40 名が参加し、学内からも多数が参加して、活発な意見交換が行われました。



先ず本学の産学連携について紹介し、続いて大学院生 10 名が日頃行っている研究について、それぞれ 3 分間のショートプレゼンテーションを行いました。その後、ポスターセッション形式で研究紹介のポスターの前で、参加者に研究内容の詳細を紹介し意見交換を行いました。

今回、発表者と参加者間の活発な意見交換が見られると共に、発表者間でも意見交換が行われ、異分野の交流も行うことができました。

参加者からは、研究意欲の高い学生を採用したいという意見、学生を前面に出すことが島根大学と企業との交流に繋がるという意見など、次回開催を望む意見が多く寄せられました。

【学生発表者】

No.	学部・氏名	テーマ
1	総合理工学研究科 奥西亮太	KOH フラックス法による RE 系超伝導体の低温合成
2	総合理工学研究科 高本淳志	廃シリコンスラッジを用いた熱電変換材料の作製
3	総合理工学研究科 錦織大和	酸化亜鉛を用いた発光ダイオード(LED)
4	総合理工学研究科 小林 侑介	金属硫化物触媒の活性サイト機能の研究
5	総合理工学研究科 Soontornchaiyakul Wasusate	Rh ドープチタン酸ナノシートとポルフィリンとのハイブリッド多層膜の光化学挙動の解明
6	総合理工学研究科 酒井みやび	会話理解を支援するモバイルアプリ STalk2 の開発および使用実態の調査
7	連合農学研究科 前野真一	金属水酸化物を用いた水質浄化材の開発
8	生物資源科学研究科 静間愛樹	有機農家土壌の調査による適切な有機肥培管理方法の検討
9	連合農学研究科 末廣優加	ブドウの果実成熟と果皮における機能性成分の蓄積機構に関する研究
10	連合農学研究科 枅川貴紀	紫系および赤系「出雲おろち大根」育成系統の形質評価とアントシアニン組成について

【紹介研究室】

No.	学部・氏名	テーマ
A	総合理工学研究科 笹井・藤村研究室	層状無機化合物を利用したライフ・グリーンイノベーション
B	総合理工学研究科 小俣・久保田研究室	非線形回帰モデルによる触媒設計と開発
C	総合理工学研究科 山田・舩木研究室	エネルギー高効率化に向けた機能性酸化物材料の開発
D	総合理工学研究科 藤田・吉田研究室	ナノテクによる次世代デバイスと医療応用技術の開発

2-1-2 山陰（鳥取・島根）発 新技術説明会

日時：平成 27 年 7 月 7 日(火)11:00～15:55

会場：科学技術振興機構（JST）東京本部

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構，

国立大学法人鳥取大学，国立大学法人島根大学，

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター，島根県産業技術センター

後援：鳥取県，島根県，公益財団法人鳥取県産業振興機構，

公益財団法人しまね産業振興財団，独立行政法人中小企業基盤整備機構

全国イノベーション推進機関ネットワーク

【概要】

新技術説明会は，大学や公設試験研究機関等から生まれた研究成果の実用化を促進するために開催される JST の事業であり，山陰地域では，2007 年度から，大学や公設試験研究機関が連携して開催しています。

今回は，島根大学，鳥取大学，島根県産業技術センター，鳥取県産業技術センター，鳥取県衛生環境研究所，鳥取県 県土整備部技術企画課から生まれた計 8 件の新技術の発表が行われました。

本学からは，総合理工学研究科の横田正幸 教授による「デジタルホログラフィによる乾燥・硬化過程の解析」，総合理工学研究科の笹井亮 准教授による「環境水中から選択的にヨウ素含有陰イオンを捕集できる素材の開発」の計 2 件の新技術の発表が行われました。

当日は，合計で 115 名の参加者が集まり，山陰発の新技術に熱心に耳を傾けられていました。また，各発表の終了後には，作成したパネルの前で名刺交換が行われ，民間企業等からの具体的な相談について，担当コーディネータも交えた協議が行われました。

山陰（鳥取・島根）発 新技術説明会では，2007 年度の第 1 回から昨年度開催までに，本学から計 28 件の新技術が発表されました。このうち，新技術説明会での発表がきっかけとなり，共同研究契約や実施許諾契約等の具体的な連携に繋がったものは計 9 件あります。今回発表された新技術 2 件についても，具体的な連携につながるように，産学連携センターとして積極的にサポートをしていく予定です。



島根大学の技術シーズ発表

計測

「デジタルホログラフィによる乾燥・硬化過程の解析」

総合理工学研究科 機械・電気電子工学領域 横田正幸 教授

新技術の概要

デジタルホログラフィを用いた塗料、インク、接着剤等の乾燥・硬化の可視化、さらに定量的に解析する技術です。顕微鏡光学系を用いると $100\mu\text{m}$ 以下のドットに対する乾燥過程の評価も可能になります。

【従来技術・競合技術との比較】

スペックル法では可視化が困難でクリア塗料には不向きです。それ以外の方法に対しても可視化と定量的な乾燥・硬化が同時に解析できる技術は見当たりません。



【新技術の特徴】

- ・乾燥・硬化過程の可視化と定量的解析
- ・乾燥度の数値化
- ・揮発溶剤の密度推定

【想定される用途】

- ・自動車業界等の塗装工程における乾燥時間評価
- ・プリンタブルエレクトロニクス（インクジェット法による塗布型半導体製造）

のインク乾燥解析

- ・レーザープリンタのトナーの溶解温度付近の挙動解析

島根大学の技術シーズ発表

環境

「環境水中から選択的にヨウ素含有陰イオンを捕集できる素材の開発」
総合理工学研究科 物理・材料科学領域 笹井 亮 准教授

新技術の概要

本研究で開発した素材は、原発の廃炉等で問題となるヨウ素含有陰イオン（ヨウ化物イオンやヨウ素酸イオン）を海水などの環境水中から選択的に回収できると共に、それ自身が比較的高い放射線遮蔽能を有する層状複水酸化物である。

【従来技術・競合技術との比較】

セリア系の吸着剤がヨウ化物やヨウ素酸イオンの回収素材として検討されているが、選択性、吸着能力およびコストの点でベストとはいえないが、本研究で開発している素材は選択性と吸着能力において既存の素材を凌駕できる。

【新技術の特徴】

- ・ 金属組成の調整により様々な陰イオンに対する選択性を制御できる。
- ・ 放射性ヨウ素などのような弱い放射線であれば十分に遮蔽できる。
- ・ 環境水に含まれる他の共存陰イオンの影響を低減できる



【想定される用途】

- ・ 原発廃炉時の排水処理
- ・ 産業排水の処理
- ・ 水族館や内地海水養殖における水質浄化

2-1-3 平成 27 年度しまね地域 MOT セミナー「顧客価値と技術から展開する新商品・事業開発手法」

〔 初級編 〕

日時：平成 27 年 12 月 3 日(木)13:30～17:00

会場：安来市学習訓練センター

主催：島根県，安来市，安来商工会議所，公益財団法人しまね産業振興財団，
島根大学産学連携センター

〔 中級編 〕

日時：平成 28 年 1 月 28 日(木)13:00～19:30，29 日(金)9:00～16:30

会場：テクノアークしまね 1 階中会議室

主催：島根県，公益財団法人しまね産業振興財団，島根大学産学連携センター

【概要】

経済環境が厳しい今日，中小企業では，大企業などからの下請け型から，企画提案型への変革が必要とされています。しかし下請け型からの脱却には，顧客価値を把握して自分の仕事は自分で創り出すという取り組みが必要となります。

このような観点から，中小企業が自社の経営資源を活かして独自製品や技術を開発し，事業として進めていくためのコツを学んでいただくセミナーを，島根県をはじめ島根県内の関連機関と連携して 10 年前から開催しています。

今年度も，株式会社テクノ・インテグレーション 代表取締役（島根大学産学連携センター 客員教授）の出川 通 氏を講師に迎え，初級編と中級編を開催しました。

初級編では，「経営者・技術者が開発した新製品がなぜ売れないのか」をテーマとする講演と，地元の 2 社（城東化成株式会社 部長 遠藤 博 氏，株式会社ファデコ 取締役専務 藤原大輔 氏）からそれぞれの企業で取り組んでおられる事例を紹介していただきました。その後，パネル討論形式で会場との質疑応答を行い，B2B でのマーケティングの実際や新規顧客の獲得，新分野での事業展開，顧客との連携の苦労など，生の声を伺うことができました。

安来市や松江市など島根県東部の企業の方々を中心に約 30 名の参加があり，盛況でした。



(右側) 株式会社ファデコ
取締役専務 藤原大輔 氏
(左側) 城東化成株式会社
部長 遠藤 博 氏



(右側) コメンテーター 出川 通 氏
(左側) 司会 北村寿宏 教授

中級編では、MOT のマーケティングを中心に、座学に加えて自らのテーマについて演習し、その結果を参加者間で発表して議論するというグループ討議を組み合わせて行いました。

参加した皆さんは、熱心に講師の話を聞くと共に、グループ討議（演習）では各自が持ち寄った課題について活発な議論が行われ、会場が熱気に包まれるほどでした。自らのテーマで演習やグループ討議を行うことで、MOT やマーケティングについての理解を深められました。また、参加者間の交流が活発に行われ、自然に異業種交流となりました。

参加者は 10 名で、金属加工、食品、サービスなど様々な業種の方が参加されました。参加者のエリアも、松江を初め、米子、安来、出雲、益田など様々でした。



グループ討議（演習）



グループ発表

2-1-4 平成 27 年度 島根大学知的財産セミナー「知財一般知識と大学における知財留意点」

日時：平成 28 年 3 月 2 日(水)14:00～15:30

会場：島根大学 松江キャンパス 総合理工学部 1 号館 1 階 11 講義室(1-104)

主催：島根大学産学連携センター

【概要】

田辺特許商標事務所の田辺義博 弁理士を講師に迎え、知的財産セミナーを開催し、学外及び学内から 23 名の参加がありました。

近年、知的財産の重要性が益々高まる趨勢にあり、本セミナーでは、発明等の適切な権利化推進の観点から、知的財産についての一般知識を概説し、その中でも出願件数の多い、特許・商標を中心にポイントとなるところを説明しました。

内容
(1)はじめに (2)弁理士とは (3)知財概説 (4)特許のポイント（新規性・進歩性・権利内容） (5)商標のポイント (6)不正競争防止法による保護 (7)青色ダイオード特許について（学生への興味喚起） (8)研究遂行と発明届の関係 ・職務発明と自由発明 ・学術論文の手間と特許出願に関わることで割かれる手間 (9)自分の発明に対する出願書類の確認方法 ・特許請求の範囲と拒絶理由対応 (10)特許管理・費用目安・外国出願 (11)著作権のポイント



（左側）田辺義博 弁理士



（右側）阿久戸敬治 教授

2-2 後援事業

産学連携を促進するためには、研究紹介をすると共に、学内の教員と産業界の方々が知り合う機会も非常に重要です。

当センターでは、このような機会をできるだけ多く設けるため、関連する機関と連携し、様々な事業を進めています。

平成 27 年度に後援した事業について以下に紹介します。

2-2-1 産学連携学会 関西・中四国支部 第 7 回研究・事例発表会

日時：平成 27 年 12 月 10 日(木)13:00～18:00, 12 月 11 日(金)9:00～12:00

会場：高知工科大学 永国寺キャンパス 地域連携棟 4 階 多目的ホール

主催：産学連携学会 関西・中四国支部

共催：高知大学 地域連携推進センター，高知県産学官民連携センター，
高知工科大学地域連携機構

後援：島根大学産学連携センター，他

【概要】

産学連携学会 関西・中四国支部 研究・事例発表会は、地域が共有する課題を解決し、産学連携の促進に向けて産学連携の事例や研究成果について情報交換を行い、かつ、地域内の会員の交流を深めるために、当該エリアの方々が気軽に産学連携の事例の紹介や様々な研究の発表ができるように企画されたものです。



今回の発表会では、28 件の事例や研究紹介が行われました。参加者は約 50 名で、支部エリア内だけでなく、群馬、富山、熊本からの参加もあり、関心の深さが伺われました。各発表での質疑は非常に活発で、参加者の情報交換や交流が促進されました。

当センターからは、北村寿宏 教授、小金民造 客員教授が参加しました。

北村教授は、「地方大学における産学共同研究の実状解明の実証的研究－6 島根大学における 2004～2008 年度の共同研究の相手先の地理的分布の変化」と題して、現在、科研費で行っている研究成果を報告しました。発表では、島根大学の共同研究契約のデータの分析から、企業を相手先とする共同研究は増えていることや、関東や近畿などに位置する企業との共同研究が増加する一方で地元企業との共同研究が減少傾向にあることを明らかにしました。

1 日目の発表会の後には情報交換会があり、発表会では足らなかった議論の続きが行われました。

2-3 イベント等での研究シーズ発信

産学連携の促進のために、全国で様々なイベントなどが行われています。

当センターでは、本学の研究成果や研究シーズを紹介する目的で、様々なイベントなどに参加しています。平成 27 年度に参加したイベントなどについて、以下に紹介します。

2-3-1 イノベーション・ジャパン 2015－大学見本市＆ビジネスマッチング

日時：平成 27 年 8 月 27 日(木)9:00～17:30、28 日(金)10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 西 1 ホール

主催：国立研究開発法人 科学技術振興機構、

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

【概要】

平成 27 年 8 月 27 日(木)～28 日(金)に、大学と産業界が持つ技術シーズとニーズの発見・出会いを目的とした国内最大級のマッチングイベントである「イノベーション・ジャパン 2015－大学見本市」が、東京ビックサイトで開催されました。

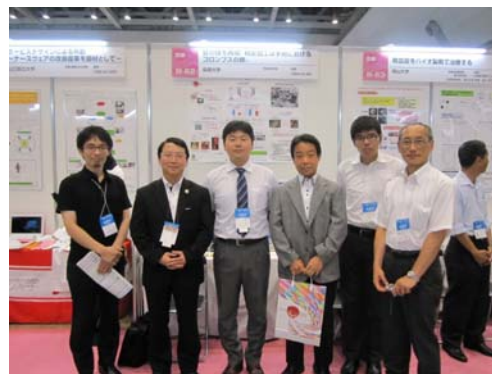
今年は、情報通信、ライフサイエンス、医療、装置・デバイス、ナノテクノロジー、環境保全・浄化、低炭素・エネルギー、マテリアル・リサイクル、シニアライフ（高齢社会）、防災の計 10 分野から 500 件を超える大学などの研究最先端シーズが展示説明され、各大学の研究シーズや産学連携への取り組みの一端を感じることができました。

島根大学からは、医学部 医学科 整形外科 内尾祐司 教授のグループが「匠の技を再現！精密加工は手術におけるコロンブスの卵」について出展し、今出真司 助教が研究シーズすると共に、ショートプレゼンテーションを行いました。

この研究では、骨折の治療などの臨床において骨の形成は医師が手作業で行うため、その精度には限界があり、また骨は不均質で非常に加工しにくいと言う問題を医工連携で解決し、骨の加工を精密に行える精密加工装置の開発に成功しました。この装置は、自家骨、同種骨、人工骨いずれの加工にも対応可能であり、骨欠損を有し骨移植を要する疾患（粉碎骨折、骨腫瘍、人工関節置換術など）の治療に対して活用が期待できます。

当日は、開発した 3 次元精密加工装置のプロトタイプを展示し、実際の工程を見ていただき、企業の方を中心に多くの関係者の方に興味を持っていただけ、PR できました。

他に島根大学からは、大庭卓也 センター長、阿久戸敬治 教授、北村寿宏 教授、中村守彦 教授、丹生晃隆 准教授、小金民造 客員教授が参加し、出展ブースでの情報収集をしました。



2-3-2 第5回おおた研究・開発フェア

日時：平成27年10月8日(木)、9日(金)10:00～17:00

会場：大田区産業プラザP i O

主催：大田区、公益財団法人大田区産業振興協会

【概要】

モノづくりのまち「大田区」において、学術分野と産業界の技術シーズとニーズの交流の場となる展示会「第5回おおた研究・開発フェア」が開催されました。大田区企業24社、大学・高専・研究機関42団体、全国の企業24社の展示が行われ、それぞれ最新の研究開発成果や新製品、新技術が紹介されました。来場者は1865名と過去最多で、大変賑やかでした。



本学からは、総合理工学研究科 機械設計研究室（李 樹庭 准教授）が出展し、産業ロボットや航空機用「特殊歯車装置・軸受の設計と解析技術」の研究成果を展示するとともに、「島根大学における機械要素設計に関する先端研究内容の紹介」というテーマでプレゼンテーションも行いました。

李 准教授は、歯車の解析や設計を専門としており、当日は、歯車装置設計専用FEM（有限要素法）解析ソフトやそれを用いた解析事例の紹介、SolidWorks、AutoCADを用いた先進的な歯車装置の自動設計計算、自動製図ソフトなどを紹介しました。

今回、本学のブースには、ものづくり企業の方を中心に60名以上の方が来られ、多くの方々に本学の機械要素強度の解析技術に関心を持っていただけました。約14社の企業から展示資料を送付することが求められるなど、多くの企業に本学の技術をPRでき、有意義なものとなりました。

また当センターから北村寿宏 教授も参加し、展示をサポートするとともに、企業ニーズや各大学の産学連携活動などの情報収集を行いました。

2-3-3 ビジネスマッチング商談・展示会 2015in 出雲

日時：平成 27 年 10 月 29 日(木)10:00～16:00

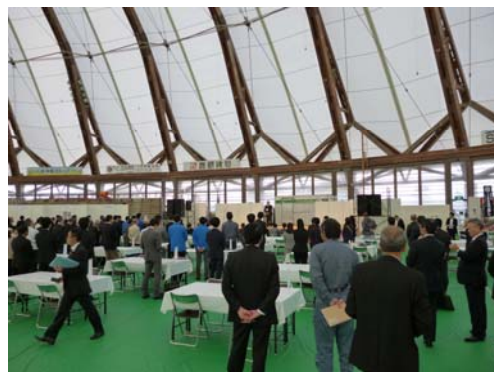
会場：出雲ドーム

主催：中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会

【概要】

ものづくり企業を中心に、中海・宍道湖・大山圏域内外から幅広く参加を募り、企業間の取引拡大、連携強化を図る山陰最大級の「商談・展示会」が開催され、100 を超える企業や教育機関からの出展がありました。

本学からは、産学連携センター（松江・出雲地区の両方）が参加、出展し、本学での産学連携活動の紹介を行うと共に、地元の産業界の方々に研究シーズの紹介を行いました。また、鳥取大学など近隣の大学などと産学連携についての情報交換を行うことができました。



2-3-4 出雲産業フェア 2015

日時：平成 27 年 10 月 31 日(土)，11 月 1 日(日)10:00～16:00

会場：出雲ドーム

主催：出雲産業フェア実行委員会，NPO 法人 21 世紀出雲産業支援センター

後援：島根大学，他

【概要】

「世界に羽ばたけ 出雲のものづくり！夢づくり！」をテーマに、地域の企業等の製品や技術などを一堂に集め、地元産業への理解を図り、企業間の相互のコミュニケーションを深める、さらには、大学等教育・試験研究機関の研究内容を紹介し産学連携の推進を図ることなどを目的に開催されました。

島根大学からは、5つのグループが出展しました。

【島根大学からの出展】

- ・農林水産業の六次産業化プロジェクトセンター

本学の食品シーズや六次産業化商品、研究の取組を紹介しました。

- ・たたらナノテクプロジェクトセンター



産学連携センターの展示ブース

材料のおもしろさと金属材料の評価方法を紹介しました。

- ・ナノテクノロジープロジェクトセンター

ナノ材料による環境や医療の技術革新に関する研究を紹介しました。

- ・産学連携センター（松江地区）

本学の産学連携の活動や制度について紹介すると共に、研究シーズ集やお宝研究の冊子の配布やパネル展示を行い本学の研究成果について企業や一般市民の方々に紹介しました。研究成果は、高校生などにも興味を持っていただけました。

- ・産学連携センター（出雲地区）

医工連携、医農連携による共同研究開発の事例を紹介しました。

2-3-5 アグリビジネス創出フェア 2015

日時：平成 27 年 11 月 18 日(水)～20 日(金)10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト

主催：農林水産省

【概要】

「アグリビジネス創出フェア」は、全国の産学の機関の有する農林水産・食品分野などの最新の研究成果を、展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として開催される「技術・交流展示会」です。

本学からは、「低カリウムメロンプロジェクトチーム」と「農林水産業の六次産業化プロジェクトセンター」が出展し、出展説明やプレゼンテーションを行い、これまで取り組んできた研究成果やその成果から実用化された柿ドリンク、低カリウムメロンなどについて紹介しました。非常に多くの方が訪れ、関心を持っていただけました。

産学連携センターからは、北村寿宏 教授、小金民造 客員教授が参加し、研究シーズを紹介するとともに各大学の産学連携活動などの情報収集を行いました。



低カリウムメロン
プロジェクトチーム



農林水産業の六次産業化
プロジェクトセンター

2-4 他機関との連携促進・技術動向に関する情報収集活動

産学連携を円滑に効果的に進めるためには、ネットワークが非常に重要です。

当センターでは、様々な機会を利用し、全国の大学とのネットワーク、産学連携従事者間のネットワーク、産学連携に携わっている各機関とのネットワークを構築し、つながりを深めるために研究会や学会、その他会議に参加しています。

平成 27 年度に行った連携活動について、以下に紹介します。

2-4-1 平成 27 年度中国地域産学官連携コンソーシアム運営会議

日時：平成 27 年 5 月 29 日(金)14:00～17:00

会場：岡山大学本部棟 6 階第 1 会議室

【概要】

阿久戸敬治 教授が出席しました。

次第
1. 開会の挨拶
2. 平成 26 年度事業報告
3. 平成 26 年度外部評価委員会報告
4. 平成 27 年度の事業について
5. 質疑応答及び意見交換
7. 閉会の挨拶

2-4-2 一般社団法人コラボ産学官 第 7 回本部通常総会・記念講演会

日時：平成 27 年 6 月 19 日(金)14:30～17:30

会場：コラボ産学官プラザ inTOKYO 2 階大ホール

【概要】

一般社団法人コラボ産学官の第 7 回本部通常総会が開かれ、平成 26 年度事業報告と平成 27 年度事業計画、そして新理事と新会員について全て承認されました。

総会に続いて記念講演会があり、富士通株式会社 知的財産権本部 ビジネス開発部長の吾妻勝浩 氏が「「お客様のお客様」まで見据えた出口戦略をどう作るか」と題して講演をされました。

いずれも、大庭卓也 センター長の代理として小金民造 客員教授が出席しました。

2-4-3 産学連携学会第13回大会

日時：平成27年6月25日（木）～26日（金）

会場：北見工業大学

【概要】

産学連携学会の定期大会である第13回大会が開催され、北村寿宏 教授、中村守彦 教授、丹生晃隆 准教授が参加しました。

特別講演やシンポジウム、170件を超える研究成果の一般講演やポスターセッションが行われ、多数の参加者もあり盛況でした。



北村寿宏 教授は「地方大学における産学共同研究の実情解明の実証的研究-1～島根大学における共同研究の相手先の地理分布～」と「地方大学における産学共同研究の実情解明の実証的研究-5～共同研究の実情の比較～」について、中村守彦 教授は「産学官連携によるやさしい医工連携のススメ」について、丹生晃隆 准教授は「島根県におけるエゴマを通じた産学官連携～エゴマ油の粉末化による新規食品開発～」と「産学連携による塗料乾燥評価装置の研究開発」と「産学連携による商品化事例を題材とした人材育成」について発表しました。

2-4-4 平成27年度島根県産業技術センター研究成果発表会

日時：平成27年7月22日（水）10:00～15:00

会場：テクノアークしまね4階 大会議室

【概要】

島根県産業技術センターの研究成果発表会が開催され、北村寿宏 教授と丹生晃隆 准教授が聴講しました。

発表内容
・磁性体複合化ヒ素吸着樹脂の開発と性能評価 ・シミュレーションを活用した開発・支援事例「熱交換器の性能予測」 ・ジェスチャーインターフェイスの開発 ・香味数値化技術を活用した島根県産食品高付加価値化への取り組み ・地域ジャムの味覚センサー分析結果と果実分含有量の関係 ・米アルコールに含まれる香味成分の除去および醸造アルコールとしての利用に関する研究 ・プリンテッドエレクトロニクス技術開発と各種センサデバイスへの展開

2-4-5 プラズマ技術研究開発センター 第1回公開セミナー「プラズマ表面改質技術」

日時：平成27年7月29日(水)15:30～17:00

会場：テクノアークしまね 特別会議室

【概要】

大分大学工学部 電気電子工学科の市来龍大 助教による「プラズマを利用した金属材料表面改質技術」と題しての講演があり、北村寿宏 教授が聴講しました。

2-4-6 平成27年度中国・四国地区国立大学法人地域共同研究センター等センター長会議

日時：平成27年7月24日(金)14:00～17:50

会場：(会議) 常磐工業会館 会議室 (懇親会) 山口大学工学部 学生食堂

【概要】

中国・四国地区の国立大学法人で産学連携を推進しているセンターや機構のセンター長や教員、担当事務スタッフなど約40名が出席して開催されました。本学からは、大庭卓也 センター長、北村寿宏 教授、洲之内善基 課長が出席しました。

山口大学の三池秀俊 理事（学術研究担当副学長）による開会挨拶の後、三つの講演がありました。

まず、文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課の西島宗明 大学技術移転推進室長補佐が「産学官連携の現状と今後の展望」と題して講演され、産学連携のこれまでの経緯や共同研究や特許などの実績、さらには、現在進めている文部科学省における取り組みを中心に紹介されました。

次に、経済産業省 中国経済産業局の江口知之 地域経済部長が「最近の経済情勢と産学官連携の動向」と題して講演され、中国地方の経済動向や産学連携の促進の取り組みなどについて紹介されました。

最後に、山口大学 大学研究推進機構 知的財産センターの木村友久 副センター長が「山口大学における知的財産教育の取り組み」と題して講演されました。

講演後に行われた会議では、「産学官連携センターによる地域連携の在り方について」をテーマに、各大学における地域企業との共同研究や各種連携の促進に対する問題点や取り組み状況が紹介され、意見を交換しました。



2-4-7 日立金属冶金研・島根大学たたらナノテクプロジェクトセンター情報交換会

日時：平成 27 年 8 月 5 日(水)

主催：島根大学

【概要】

日立金属冶金研究所と、本学のたたらナノテクプロジェクトセンターによる情報交換会が行われ、大庭卓也 センター長、北村寿宏 教授が参加しました。

発表内容
「核融合プラズマ対向材料の表面特性変化」 総合理工学研究科 宮本光貴 准教授
「超耐熱合金の析出物予測技術」日立金属冶金研 上野友則 氏
「C-Si-Mn 鋼のマルテンサイト組織形態」 総合科学研究支援センター 林 泰輔 氏
「工具鋼切削加工メカニズム」日立金属冶金研 古谷 匡 氏
「Crystallographic study of prior-austenite microstructure」 戦略的研究推進センター ファム ホアン アン 特任助教

2-4-8 第 28 回国立大学共同研究センター等教員会議

日時：平成 27 年 9 月 3 日(木)13:00～17:40、4 日(金)9:30～12:00

会場：香川大学 （会議）研究交流棟 5 階 （情報交換会）大学会館 2 階

【概要】

全国の国立大学に設置されている産学連携を担当している組織の教員が集まり、情報交換や意見交換を行う「国立大学法人共同研究センター等教員会議」に、北村寿宏 教授と中村守彦 教授が出席しました。

第 28 回となる今回は、香川大学の当番により開催され、全国から共同研究センター等の教員 60 名が集まり、様々な意見交換や議論を行いました。



一日目の全体会議では、文部科学省 産業連携・地域支援課 地域支援企画官の次田 彰 氏から、「産学官連携に関する諸課題と地域イノベーション推進施策」と題し、現在の取り巻く環境や地域科学技術支援施策の変遷から地域イノベーションの推進のための今後の課題や施策などの紹介がありました。

そして「大学として地域創生を考える」を主題に三つの分科会（分科会 1「地域創生における大学の役割」、分科会 2「地域創生における大学の関与手法（進め方）」、分科会 3「地域創生を進めるためにどのような組織であるべきか」）が行われ、北村教授と中村教授は分科会 1 に出席しました。

大学のCOCやCOC+事業、地域企業との産学連携等について6大学から事例紹介があり、その後、現状の問題点や課題について情報交換し、議論を行いました。

地域企業との産学連携は、停滞、あるいは、なかなか進まない大学も多く、その原因として、地元企業とのニーズと大学のシーズがマッチしない、大学のシーズを地元企業で扱えない、などの問題点が出されました。今後、地域創生や地域イノベーションを進めるためには、学生だけでなく地域企業の人材育成が必要であるとの意見が多く出されました。

二日目は、分科会で継続して議論を行い、その後全体会議で各分科会でのまとめの紹介を行って議論し情報を共有しました。

2-4-9 JST マッチングプランナー事業説明会

日時：平成27年9月7日(月)11:00～12:00

会場：島根大学総合理工学部1号館2階 第3会議室

【概要】

平成27年9月7日に研究機構産学連携センター主催により、「JST マッチングプランナー事業説明会」を開催しました。

マッチングプランナープログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が平成27年度に新設した事業です。

全国5拠点にマッチングプランナーが配置され、地域の企業ニーズと大学等の研究成果を結びつける活動が行われています。

当日は、中四国地域の拠点である岡山オフィスのマッチングプランナー 小谷章二氏を本学にお呼びし、事業概要の説明や、今後の公募について情報提供をいただき、松江キャンパスの教員に加えて、県内の産学官連携の担当者など、計15名が参加しました。

マッチングプランナープログラムでは、企業のニーズがあることが前提であり、具体的な課題解決に向けて、大学の研究成果（シーズ）を活用する、という視点が重要になります。研究機構産学連携センターでは、マッチングプランナーの方々とともに連携して、今後も産学連携による研究開発活動をサポートして参ります。



2-4-10 第 27 回 国立大学法人共同研究センター長等会議

日時：平成 27 年 9 月 17 日（木），18 日（金）

会場：電気通信大学

【概要】

平成 27 年 9 月 17, 18 日に電気通信大学で開催された第 27 回国立大学法人共同研究センター長等会議に，全国の国立大学法人に設置されている共同研究センター等のセンター長，専任教員，担当事務など約 160 名が出席しました。本学からは，北村寿宏 教授と学術国際部研究協力課 曾田弘喜 課長補佐が出席しました。

一日目には，文部科学省の次田 彰 氏（文部科学省科学技術・学術政策局・産業連携・地域支援課 地域支援企画官）による基調講演「産学官連携に関する諸課題と地域イノベーション推進施策」があり，現在の取り巻く環境や地域科学技術支援施策の変遷から地域イノベーションの推進のための今後の課題や施策などの紹介がなされました。

基調講演に続き，2つの分科会（分科会 A「課題解決のための産学官の協働体制」，分科会 B「産学官連携に関わる人材の育成」）に分かれて情報交換や議論がなされました。

北村教授は分科会 A に参加し，①「大学と企業等との協働」と，②「学内または大学間における協働」について議論しました。①では，静岡，佐賀，北陸先端，奈良先端の各大学が，複数の企業と複数の大学との連携やコンソーシアムの構築，海外企業との連携などの活動事例について紹介されました。②では，宇都宮，東工大，浜松医科，宮崎の各大学から，大学間の連携や学内の他学部間の連携による実用化事例などの活動について紹介がありました。

その後，全体で意見交換や議論がなされ，各センターとも様々な課題を解決しながら，複雑な連携体制を構築されていることがわかりました。

二日目には，日刊工業新聞社顧問の千野俊猛 氏による講演「マスコミから見た産学連携の展望」があり，研究開発型の中堅・中小企業と大学との産学連携が重要であること，日本の現況を悲観する状況にないことや将来のために産学連携が非常に重要であることなどを強調されました。

2-4-11 平成 28 年度新産業創出研究会の事前説明

日時：平成 27 年 10 月 1 日（木）13:30～14:30

会場：産学連携センター（松江地区）

【概要】

公益財団法人ちゅうごく産業創造センター産業部の石原稔久 氏が来訪され，事業化支援プログラムである新産業創出研究会の平成 28 年度計画について，大庭卓也 センター長と北村寿宏 教授が事前説明を受けました。

2-4-12 日本農芸化学会中四国支部創立 15 周年記念 第 20 回若手研究者シンポジウム

日時：平成 27 年 10 月 17 日(土)13:00～17:00

会場：島根大学生物資源科学部 1 号館 101 講義室

【概要】

日本農芸化学会中四国支部による若手研究者シンポジウムが「若手研究者による農芸化学の将来の展望」をテーマに開催されました。

当日は山崎幸一 客員教授が出席し、本学生物資源科学部出身の大学、試験研究機関、企業で活躍している若手研究者の研究内容を聴講することにより、産学官連携の可能性を調査しました。

2-4-13 慶尚大学校 来訪

日時：平成 27 年 11 月 4 日(水)13:00～16:00

会場：産学連携センター（松江地区）

【概要】

日本の大学の先進的研究行政、産学協力システムおよび支援制度、産学連携政策などに対する分析を通し、慶尚大学校の国際産学協力のための制度を確立していくこと、また、訪問大学との親善を通して国際産学協力のためのきっかけを作ることを目的に、韓国 慶尚大学校の産学協力団長のキム氏と、産学協力企画担当者のナム氏が来訪され、大庭卓也 センター長と北村寿宏 教授が対応しました。



2-4-14 産学連携学会 平成 27 年度秋季シンポジウム

「オープン・イノベーション～企業文化変革への挑戦～」

日時：平成 27 年 12 月 1 日(火)14:00～17:00

会場：東京医科歯科大学 湯島キャンパス M&D タワー2 階 鈴木章夫記念講堂

【概要】

近年、自社だけでは開発が困難な新しい技術や機能を獲得でき、自前主義による研究開発に比べ商品化までの期間を短縮することが期待できるなどのオープン・イノベーションに取り組む企業が増えていることから、それをテーマとするシンポジウムが開催され、北村寿宏 教授が参加しました。

オープン・イノベーションを効果的に活用している大企業各社（富士フイルム（株）、（株）ナインシグマ・ジャパン、大阪ガス（株）、パナソニック（株）、セコム（株））から、

オープン・イノベーション戦略や顕在化してきた課題への対応が紹介された後、パネルディスカッションが行われ、オープン・イノベーションについて産学連携も含め様々な観点から議論が交わされました。

今後の産学連携においては、オープン・イノベーションを念頭に活動を推進していく必要があります、その対応も進めていかなければならないと感じました。

2-4-15 しまね大交流会&キックオフセミナー

日時：平成 27 年 12 月 12 日(土)10:00～17:00

主催：島根大学

会場：くにびきメッセ 大展示場

【概要】

平成 27 年度文部科学省から採択を受けた「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の初めての取り組みとして、「しまね大交流会」、「キックオフセミナー」が開催され、大庭卓也 センター長、中村守彦 教授、北村寿宏 教授が参加しました。

「しまね大交流会」には、当センターも出展し、島根大学の産学連携活動や研究シーズの紹介を行いました。いつもの産学連携関係のイベントとは異なり、企業だけでなく NP0 や自治体、学生の参加があり、多様な方々との交流ができました。

「キックオフセミナー」では、株式会社ソアラサービスの牛来千鶴 代表取締役社長が「人・地域を活かす 小さな点を結ぶ新ビジネスの可能性」と題して記念講演をされました。講演の中で、起業家をつないで新しいビジネスを作り上げていく実例をもとに、その仕組みとしての共同オフィスの運営（集積の場づくり）、交流の場づくり、発想の場づくりについて紹介されました。非常に興味深い話で、産学連携を進める上でも大いに参考になりました。

2-4-16 グローバル知財戦略フォーラム 2016

日時：平成 28 年 1 月 25 日(月)10:00～18:30、26 日(火)10:00～16:30

会場：セルリアンタワー東急ホテル

主催：特許庁、独立行政法人工業所有権情報・研修館

【概要】

「新たなビジネス・知財戦略と地方創生の実現へ向けて」をコンセプトに開催された「グローバル知財戦略フォーラム 2016」に、島根大学の知的財産活動に資する観点から、阿久戸敬治 教授が参加しました。

2-4-17 第 23 回「地域を活かす科学技術政策研修会」

日時：平成 28 年 2 月 1 日(月)13:00～17:45, 2 日(火)9:00～17:00

場所：くにびきメッセ

主催：公益財団法人全日本地域研究交流協会

【概要】

主に地域において科学技術振興・産業振興の企画立案やその施策の展開を担っている方を対象にした「地域を活かす科学技術政策研修会」に、北村寿宏 教授と服部大輔 准教授が参加しました。

この研修会は、これまで地域に蓄積されてきた資産やポテンシャルの強みと農林水産業・商工業・医療福祉など既存産業の枠を超えた視点で、新たな地域のイノベーションの模索をし、地域企業がグローバル企業へと発展するための支援策を検討する場として位置付けられています。

一日目には、二つの基調講演があり、まず文部科学省 大臣官房審議官、内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局の佐野 太 次長が「地方創生に向けた国の取組 -まち・ひと・しごと創生総合戦略について-」と題して、講演され、各種データから見た地方創生の課題や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の紹介、大学と地方創生などについて紹介されました。

次に、海士町の山内道雄 町長が「島根県海士町の地方創生に対する取組-地域住民と行政の密着した連携の実践-」と題して講演され、海士町での取り組み事例やその背景について紹介されました。

二日目には、①「地域の強みを活かした地方創生戦略構築の模索」、②「農水・商工・医療系の学際連携で特長ある新製品・サービス開発模索」、③「地域の中小企業のニッチトップ展開への支援のあり方」の三つのグループに分かれて、各地の活動や事例の紹介を行うと共に課題や解決策について意見交換しました。



2-4-18 第 64 回島根大学サイエンスカフェ「やさしい栄養学と健康茶の研究事例」

日時：平成 28 年 2 月 2 日(火)14:30～16:00

会場：くにびきメッセ

【概要】

出雲市多伎町では、地域活性化を喫緊の課題として「いちじくの里多伎再生プロジェクト」に取り組み、五つの部会の一つである「ヤマモモ検討部会」で、ヤマモモを多伎の特産に育てようといろいろと検討を行っています。この一環での研究成果を、教育学部 鶴永陽子 准教授が発表するにあたり、運営委員でもある山崎幸一 客員教授が、情報交換及び情報収集を目的に参加しました。

2-4-19 島根県鋳造関連産業振興協議会 第8回個別テーマ研究会

日時：平成28年2月4日(木)14:00～17:30

場所：ヤンマーキャステクノ株式会社

主催：島根県鋳造関連産業振興協議会

【概要】

島根県鋳造関連産業振興協議会の主催で「第8回個別テーマ研究会」が開催され、大庭卓也 センター長と北村寿宏 教授が参加しました。

今回の研究会は、人材育成事業と環境対策・省エネ対策がテーマで、島根県の鋳造関連の企業17社約30名と、島根県と公益財団法人しまね産業振興財団から約10名、島根大学から5名、松江高専から3名が参加しました。

ヤンマーキャステクノ株式会社の工場を見学した後、研究会が行われました。

環境対策・省エネ対策研究会では、ヤンマーキャステクノ株式会社から、環境や省エネに関する取り組みの事例が発表され、各社との意見交換がなされました。

人材育成事業研究会で、大学、高専からは、大学や高専の人材育成の取り組みについて紹介し、意見交換をしました。人材育成については、各社とも採用がしにくい、新卒者の採用が難しい、技術継承などが必要な時期に来ているが社内での人材育成が進まないなど、多くの課題が出されました。

夕方は、情報交換会が開催され、参加者で自由な意見交換を行いました。

今後も継続的に参加し、情報交換や連携のきっかけ作りを行っていきたいと考えています。

2-4-20 輸出管理 DAY for ACADEMIA 2016

日時：平成28年2月26日(金)10:00～17:00

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス

主催：国際・大学知財本部コンソーシアム、産学連携学会、芝浦工業大学、九州大学

【概要】

平成28年2月26日に芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催された「輸出管理 DAY for ACADEMIA 2016」に北村寿宏 教授が参加しました。

この会議は、グローバル化していく大学・研究機関において技術情報や機器など安全保障輸出管理上どのような対応が求められるのか、また、そのために産官学でどのように協働していけばよいのかという問題を一緒に考えるために、3年前から開催されています。4回目となる今回は「Smart & Cool Export Control」をテーマに開催され、大学や行政関係者など約250人が参加しました。

「大学における技術情報管理のあり方」をテーマとするプレリミナリー・セッション、「産官学の輸出管理の連帯への期待と展望」をテーマとする講演、そして「大学における濃淡管理の現状と課題」をテーマとする、パネルディスカッションが行われました。

大学の技術情報防止マネジメント，産学官における技術管理の現状と課題，大学における安全保障貿易管理，留学生を中心とした外国人の出入国管理についてなど，大学で注意してマネジメントしていかなければならない事項について紹介され，意見交換がなされました。

今後，産学連携でも国際化が進むと考えられ，このようなことに注意しながら活動していかなければならないと感じました。

2-4-21 国立大学法人共同研究センター西日本ブロック専任教員会議

日時：平成 28 年 3 月 4 日(金)

場所：JAIST 金沢駅サテライトオフィス ホテル日航金沢ビル ポルテ金沢 12 階

【概要】

全国の国立大学法人で産学連携に携わっている教員等が集まり，産学連携の課題について議論や意見交換を行う「国立大学法人共同研究センター西日本ブロック専任教員会議」が，北陸先端科学技術大学院大学の担当で開催され，北村寿宏 教授，服部大輔 准教授，小金民造 客員教授をはじめ，北は宇都宮大学から南は鹿児島大学まで，全国各地の産学連携担当者 22 名が出席しました。

各人の自己紹介を行った後，COC や COC+，地域創成と産学連携活動や産学連携担当部署との関係や組織間の連携，URA などを中心に各大学の状況や意見交換が行われました。

会議後の情報交換会でも議論の続きが活発に行われました。

2-4-22 島根大学平成 27 年度事業・研究成果報告会

日時：平成 28 年 3 月 8 日(火)9:00～17:10

場所：島根大学 〈松江キャンパス〉大学会館 〈出雲キャンパス〉医学部看護科棟

主催：島根大学

【概要】

本学における平成 27 年度の，しまだい COC 及びオールしまね COC+の事業成果報告会と，戦略的研究推進センターの研究成果報告会が行われ，北村寿宏 教授と服部大輔 准教授が参加しました。

2-4-23 平成 27 年度環境リサイクル交流会

日時：平成 28 年 3 月 14 日(月)13:30～16:00

場所：テクノアークしまね大会議室

【概要】

リサイクル事業者、排出事業者及び関係機関が連携して、リサイクル事業の新規事業化や円滑な推進を図るための情報交換、情報交流の場を設けることでリサイクル（製品の利用拡大）を推進することを目的とした「環境リサイクル交流会」が開催され、大庭卓也 センター長が、当センターの取り組みを紹介しました。

2-4-24 白砂青松再生の会 10 周年記念大会

日時：平成 28 年 3 月 18 日(金)，19 日(土)

場所：朱鷺会館，浜山公園，外園海岸，出雲大社

主催：白砂青松再生の会

共催：日本樹木医会島根県支部

【概要】



海岸松林再生の取り組みを全国的に普及・実行している「白砂青松再生の会」が主催する「白砂青松再生の会全国大会 in 出雲（第 10 回記念大会）」が、出雲市で開催され、「白砂青松再生の会」の会員や地元の皆さんなど約 150 名が参加し、事例研修と視察が 2 日間にわたって行われました。

事例研修は、「出雲における炭と菌根菌を活用したマツの植栽と樹勢回復事例研修」をテーマに、島根県での取り組みや公共事業による外園海岸林造成の課題などが報告されました。この中で北村寿宏 教授が、「木炭の製造方法とその特性」と題して講演し、製造する条件で木炭の性質が大きく変わることを、使用する目的に応じて木炭を選ばなければいけないことを説明しました。

視察では、松の植林や再生の取り組みが行われた大社海岸湊原地区や出雲大社参道等を訪ね、活動の状況を伺いました。最後に出雲大社で、陸前高田の「奇跡の一本松記念植樹及び解説版除幕式」が行われ、一本松二世の成長を祈願しました。



2-4-25 西日本工業大学 第2回地域連携セミナー

日時：平成28年3月29日(火)14:00～15:30

場所：西日本工業大学 おぼせキャンパス A棟101講義室

主催：西日本工業大学

【概要】

西日本工業大学の主催で、平成27年度公開講座 地域連携セミナー（第2回）が開催され、北村寿宏 教授が「地方大学の産学連携の現状と今後の課題～島根大学を例に～」と題して講演をしました。

地元の大学や企業、支援団体など30名ほどの参加があり、島根大学の産学連携センターの紹介、産学連携の歴史、共同研究の推移から見る産学連携の実状、島根大学を例にした地方大学での産学連携の実態、島根大学での産学連携活動や地元企業が島根大学と連携して実用化した事例などを紹介しました。

講演後には、参加者からの質問を受け、意見交換をしました。

地方の私立大学での産学連携は模索しているようで、悩むところも多いようです。今後も継続的に意見交換など連携を行っていきたいと思っています。



2-4-26 平成27年度文部科学省事業「産学官連携リスクマネジメントモデル事業」シンポジウム

日時：平成28年3月30日(水)13:00～17:00

場所：東京医科歯科大学 M&D タワー2階 鈴木章夫記念講堂

主催：文部科学省

運営：東京医科歯科大学

【概要】

文部科学省による「産学官連携リスクマネジメントモデル事業」の採択大学が一同に集まり、取り組んできた事業内容を報告し、情報を共有する事により、各々の新たな課題やベクトルプラクティスを発見し、より良いモデルを構築することを目的としたシンポジウムが開催され、大庭卓也 センター長が参加しました。

2-4-27 産学金官連絡情報交換会

場所：島根大学産学連携センター（松江地区）及び島根県庁

【概要】

当センターでは、一年を通じて外部機関との連絡情報交換会を行っており、今年度は、10回（4/4, 5/12, 6/9, 7/1, 8/4, 9/7, 10/13, 11/17, 12/17, 2/22）行いました。

【参加機関】

<学外>

- ・島根県商工労働部産業振興課 ・公益財団法人しまね産業振興財団技術支援課
- ・株式会社山陰合同銀行 ・まつえ産業支援センター
- ・松江工業高等専門学校 ・島根県立大学

<学内>

- ・産学連携センター ・地域未来戦略センター

2-4-28 島根大学・ごうぎん 情報交換会

会場：島根大学産学連携センター（松江地区）

【概要】

株式会社山陰合同銀行に、5月20日(水)には総合理工学研究科 藤田恭久 教授の、7月14日(火)には生物資源科学部 板村裕之 教授の研修内容を紹介しました。

2-5 各種外部委員活動等

産学連携を行うために、あるいは、産学連携で得た知識や経験を社会に活かすために、センターの各教員が公的な委員会などの活動に協力しています。

平成 27 年度に協力した委員会活動等の一覧とその活動の一部を以下に紹介します。

氏名	連携機関	連携内容
大庭卓也 教授	松江市	松江市ものづくり振興会議委員
		松江市地域産業活性化新製品・新技術開発支援事業補助金審査会委員
	松江工業高等専門学校	平成 27 年度松江工業高等専門学校外部評価委員会委員
	ちゅうごく産業創造センター	評議員
	島根県商工会連合会	しまね地域資源産業活性化基金運営委員会委員
	島根県	島根県ヘルスケア産業推進ワーキンググループメンバー
		島根県ヘルスケア産業推進協議会分科会会員
	島根県中小企業団体中央会	平成 26 年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金地域採択審査委員
	特定非営利活動法人 21 世紀出雲産業支援センター	出雲産業フェア実行委員
	一般社団法人島根県発明協会	島根県学生児童発明くふう展表彰式授与者
	島根県産業技術センター	研究課題外部評価委員
		島根先端電子技術研究拠点運営委員会
	一般社団法人コラボ産学官	理事
阿久戸敬治 教授	一般社団法人島根県発明協会	第 17 回島根県学生児童発明くふう展審査会審査委員
北村寿宏 教授	株式会社全国鉄骨評価機構	鉄骨製作工場性能評価員
	島根県	島根県ヘルスケア産業推進ワーキンググループメンバー
		島根県ヘルスケア産業推進協議会分科会会員
	島根県商工会連合会	しまね地域資源産業活性化基金審査委員会委員
	国立研究開発法人科学技術振興機構	研究成果最適展開支援プログラム専門委員
		マッチングプランナープログラム専門委員
		監事
		総務委員
丹生晃隆 准教授	国立研究開発法人科学技術振興機構	産学官連携ジャーナル編集委員会委員
	RubyWorldConference 開催実行委員会	ワーキンググループメンバー
	島根県	スモウルビー・プログラミング甲子園開催実行委員会ワーキンググループ
	イノベーション・ネットワークあおもり	連携アドバイザー養成講座講師

2-6. 産学連携センターコーディネートによる競争的資金採択

産学連携による研究・開発活動を促進するために、様々な公的な助成制度を活用しています。

平成 27 年度に、当センターのスタッフがコーディネートし、直接申請に係わり採択に至った競争的資金の一覧です。

2-6-1 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター

※平成 27 年度新産業創出研究会

テーマ名	研究者代表者	共同提案者
環状オリゴ糖とエゴマ油を用いた α -リノレン酸添加食品等の開発	生物資源科学部 吉清恵介 助教	丹生晃隆 准教授

- ・第 1 回定例会議（平成 27 年 6 月 8 日（月）島根大学生物資源科学部 1 号館会議室）
- ・第 2 回定例会議（平成 27 年 11 月 9 日（月）奥出雲町商工会横田経営センター）

【概要】

公益財団法人ちゅうごく産業創造センターによる公募事業「新産業創出研究会」に、生物資源科学部 吉清恵介 助教の研究テーマ「環状オリゴ糖とエゴマ油を用いた α -リノレン酸添加食品等の開発」が採択され、その定例会議に、共同提案者である丹生晃隆 准教授、アドバイザーである医学部 橋本道男 准教授と山崎幸一 客員教授が出席しました。

2-6-2 公益財団法人しまね産業振興財団－技術革新支援総合支援事業－

※技術シーズ育成支援事業

研究課題	研究者	コーディネーター
遺伝子組換えによらない安心・安全な健康機能性米の実用開発	生物資源科学部 赤間一仁 教授	北村寿宏 教授
リン脂質合成経路を利用したホスファチジルセリン高生産酵母の開発	生物資源科学部 松尾安浩 助教	丹生晃隆 准教授
カルボキシル基を有する水溶性フタロシアニンを 用いた二光子吸収材料の開発	総合理工学研究科 池上崇久 准教授	北村寿宏 教授

※技術シーズ連携研究開発支援事業

研究課題	研究者	コーディネーター
嗅覚作用療法のための香りを徐放するアロマテラピー繊維の開発	教育学部 高橋哲也 教授	丹生晃隆 准教授
海水浄化用層状複水酸化物カラムの創製と新規循環浄化システムの構築	総合理工学研究科 笹井 亮 准教授	北村寿宏 教授
LED を用いた省エネルギー型トンネル照明システムの研究開発	総合理工学研究科 山本真義 准教授	丹生晃隆 准教授

2-7 広報活動

当センターでは、研究紹介や産学連携に関する情報提供を行うために、ホームページやメールマガジンの運用、研究者情報誌や研究シーズ集の発行など様々な広報活動を行っています。

平成 27 年度に行った主な広報活動を以下に紹介します。

2-7-1 島根大学研究シーズ集追加作成

研究成果を何に利用できそうかという視点で、産業界の方々に島根大学で行っている研究内容をわかりやすく紹介する目的で、平成 18 年度から島根大学研究シーズ集を作成しています。

今年度は 2 シーズ追加作成し、同時に当センターのホームページにも掲載しました。

【アドレス <http://www.crc.shimane-u.ac.jp/res-pr/seeds02/home.htm>】

発行月	研究者	研究シーズのテーマ
7 月	総合理工学研究科 笹井 亮 准教授	環境水中からヨウ素含有陰イオンを選択的に補修できる素材
7 月	総合理工学研究科 横田 正幸 教授	デジタルホログラフィによる乾燥・硬化過程の解析

2-7-2 メール配信

当センターが主催する行事や関連イベント、研究情報など産学連携に関する様々な情報を、学内外に電子メールで配信しています。学外に向けては、「島根大学産学連携センターニュース」を登録者 699 名に（今年度末現在）配信しました。

※ 産学連携センター主催・共催・後援・関係事業等

配信日	配信先	題名
4/3	センターnews（学外） 松江地区全教職員	「学生による研究発表会&産学交流会」開催のご案内
5/12	センターnews（学外） 松江地区全教職員	「学生による研究発表会&産学交流会」発表テーマのご案内
5/26	センターnews（学外）	「学生による研究発表会&産学交流会」開催のご案内
6/11	センターnews（学外） 松江地区全教職員	「山陰（鳥取・島根）発 新技術説明会」開催のご案内
7/27	センターnews（学外）	「イノベーション・ジャパン 2015」出展のご案内
9/16	センターnews（学外）	「第 5 回おおた研究・開発フェア」出展のご案内
10/23	センターnews（学外）	「ビジネスマッチング商談・展示会 2015in 出雲」及び「出雲産業フェア 2015」出展のご案内
11/2 11/20	センターnews（学外）	しまねMOTセミナー初級編「顧客価値と技術から展開する 新商品・事業開発手法」開催のご案内

2 産学連携センター（松江地区）の産学連携活動 / 広報活動

1/12	センターnews（学外）	しまねMOTセミナー中級編【事例と演習】「顧客価値と技術から展開する新商品・事業開発手法(2)」開催のご案内
1/27	松江地区全教員	島根県鋳造関連産業振興協議会 第8回個別テーマ研究会のご案内
2/9 2/25	センターnews（学外） 松江地区全教職員	平成 27 年度島根大学知的財産セミナー「知財一般知識と大学における知財留意点」開催のご案内

※助成金情報

配信日	配信先	題名
5/26	松江地区全教員	平成 27 年度 J S T マッチングプランナー プログラム「探索試験」課題の公募について
8/18	松江地区全教員	「J S T マッチングプランナー事業説明会」の開催について
10/15	松江地区全教員	公益財団法人ちゅうごく産業創造センター 平成 28 年度「新産業創出研究会」の募集について
10/16	松江地区全教員	平成 27 年度 J S T マッチングプランナー プログラム「探索試験」の第 2 回公募について
2/12	松江地区全教員	平成 28 年度 J S T マッチングプランナー プログラム「企業ニーズ解決試験」の公募について

※出展者募集等

配信日	配信先	題名
4/7	松江地区全教員	「イノベーション・ジャパン 2015ー大学見本市&ビジネスマッチング」の出展者募集について
6/5	松江地区全教員	「第 5 回おおた研究・開発フェア～産学連携・新技術展～」の出展者募集について
6/26	松江地区全教員	「アグリビジネス創出フェア 2015」の出展者募集について
7/27	松江地区全教員	「ビジネスマッチング商談・展示会」及び「出雲産業フェア」への出展者募集について
3/24	松江地区全教員	「イノベーション・ジャパン 2016ー大学見本市&ビジネスマッチング」の出展者募集について

※募集情報

配信日	配信先	題名
4/2	生物資源科学部教員 総合理工学研究科教員	「学生による研究発表会&産学交流会」発表者の募集について

3 平成27年度科学技術相談（松江地区の担当分）

地域に開かれた大学の窓口として、大学の持つ専門知識や研究成果を地域に還元し、その発展に寄与するために、科学技術の相談等に無料で応じています。

平成27年度に当センター松江地区で対応した科学技術相談の件数は、下記のとおりです。

平成27年度の科学技術相談の件数：45件

【地域別】

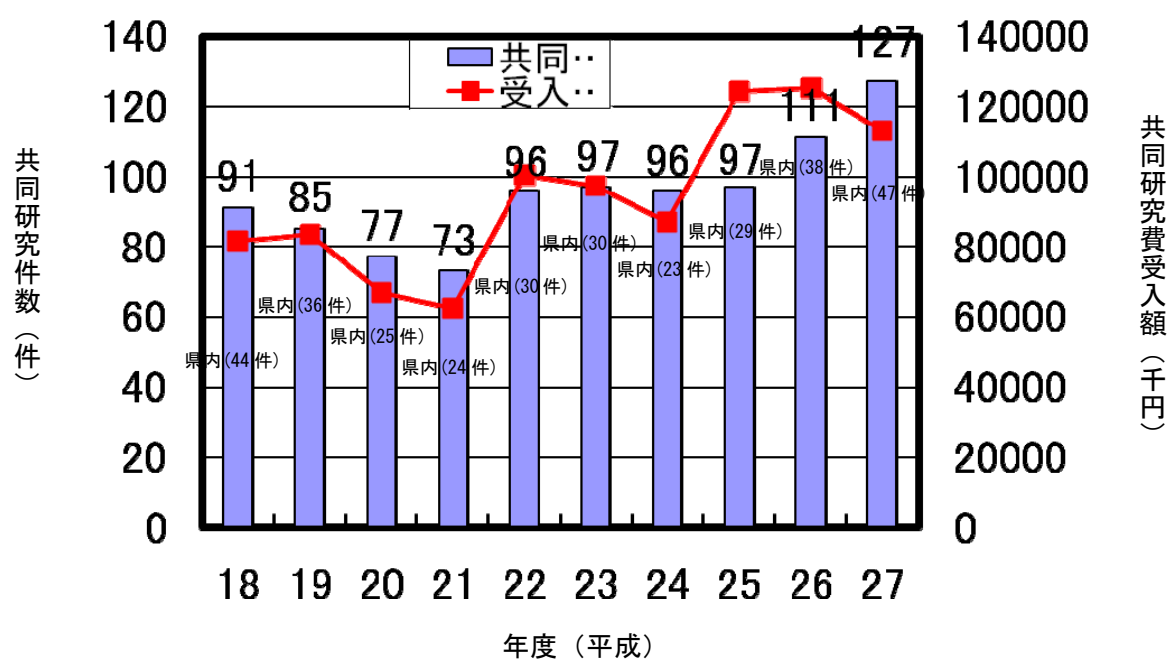
島根県内（東部 17 件，西部 4 件）	22 件
島根県外	23 件

【対応組織別】

法文学部	0 件
教育学部	2 件
総合理工学研究科	10 件
生物資源科学部	5 件
産学連携センター	23 件

4 平成27年度共同研究

平成27年度に実施された共同研究（127件）の件数と受入額を以下に紹介します。



5 知的財産（特許）

島根大学では、実用化が期待できる研究成果について、特許を出願し権利化を進めています。
27 年度の出願や権利化状況、これまでに特許公開された特許について、以下に紹介します。

【特許出願件数】

特許出願件数	平成 27 年度	累計
	33 件	324 件

【公開特許一覧（平成 28 年 3 月現在）】

	公開番号	発明の名称
1	特許公開 2015-209363	R E 1 2 3 結晶膜作成方法
2	特許公開 2015-189715	インフルエンザウイルスの R N A 依存性 R N A ポリメラーゼの P B 2 サブユニットに対するモノクローナル抗体
3	特許公開 2015-183839	変速制御機能付き自動車
4	特許公開 2015-167158	マルチコアファイバ増幅器
5	特許公開 2015-134064	プログラミング装置、N C 加工機および骨部材加工システム
6	特許公開 2015-133853	センサレスモータ装置
7	特許公開 2015-133852	センサレスモータ装置
8	特許公開 2015-119538	電力制御装置および電力供給システム
9	特許公開 2015-116137	糸状菌に対する抗真菌薬
10	特許公開 2015-109814	β -アドレナリン作動性様オクトパミン受容体作用物質のスクリーニング方法
11	特許公開 2015-95994	電力変換装置
12	特許公開 2015-67462	六方晶チタン酸バリウム系誘電体材料製造方法
13	特許公開 2015-56416	n 型熱電変換材料、熱電変換モジュール、n 型熱電変換材料の製造方法
14	特許公開 2015-37385	サツマイモの栽培方法
15	特許公開 2015-36487	空洞充填によるトンネルの補修方法
16	特許公開 2015-36384	発光材料製造方法
17	特許公開 2014-219548	光増感色素ならびに該色素を含む金属酸化物半導体電極および色素増感太陽電池
18	特許公開 2015-022605	画像処理システム
19	特許公開 2015-020101	放射線遮蔽能を有するヨウ素捕集材料
20	特許公開 2014-219548	マルチコア光伝送システム、光増幅及び光増幅用部品
21	特許公開 2014-231499	抜け毛抑制剤
22	特許公開 2014-219548	暗号処理システム
23	特許公開 2014-217321	蕎麦様食品、及びその製造方法
24	特許公開 2014-211395	塗料乾燥に伴う溶剤の密度推定法
25	特許公開 2014-175508	S i 膜形成方法
26	特許公開 2014-174654	核医学骨画像解析技術
27	特許公開 2014-169191	セラミックス複合材料
28	特許公開 2014-161256	野菜又は果物の栽培方法
29	特許公開 2014-133677	水溶性超常磁性ナノ粒子

5 知的財産（特許）

30	特許公開 2014-116466	光ファイバ増幅器
31	特許公開 2014-096399	増幅用光ファイバ及び光増幅器
32	特許公開 2014-096398	増幅用光ファイバ及び光増幅器
33	特許公開 2014-093815	駆動回路、電力変換装置および電気機器
34	特許公開 2014-093586	ゲート駆動回路、インバータ回路、電力変換装置および電気機器
35	特許公開 2014-46295	ネオジム回収方法
36	特許公開 2014-41987	n + 型 G e 半導体層形成方法およびオーミック接触構造
37	特許公開 2014-39410	ゲートドライブ回路
38	特許公開 2014-36753	睡眠時下顎固定具
39	特許公開 2014-31348	希土類発光錯体および発光材料
40	特許公開 2013-212548	青果栽培方法
41	特許公開 2013-212548	発光物質
42	特許公開 2013-198211	D C - D C コンバータ
43	特許公開 2013-198210	双方向 D C - D C コンバータ
44	特許公開 2013-177373	プロモメチルシクロアルカン類の製造方法
45	特許公開 2013-175507	光電変換素子及びその製造方法
46	特許公開 2013-175506	光散乱膜及びその製造方法、太陽電池
47	特許公開 2013-171422	3次元水中インタラクティブ装置
48	特許公開 2013-170302	A Z O 成膜用ターゲットおよびその製造方法
49	特許公開 2013-168296	有機フォトカソードおよびその製造方法
50	特許公開 2013-158327	セシウムトランスポータおよびセシウム低吸収性イネ
51	特許公開 2013-152613	救急医療における情報通信ネットワークシステム
52	特許公開 2013-133250	シリカ殻からなるナノ中空粒子及びその製造方法
53	特許公開 2013-085373	省エネ走行機能付き自動車
54	特許公開 2013-30399	透明導電膜作成方法および透明導電膜素材
55	特許公開 2013-249	栄養バランス食提供用食器セット
56	特許公開 2012-246584	マタニティドクターコート
57	特開公開 2012-235017	熱電変換材料製造装置及び熱電変換材料製造方法
58	特開公開 2012-211960	物質相互作用をリアルタイムに可視化する技術
59	特開公開 2012-194507	学生能力分析システム
60	特開公開 2012-97240	モノアザキンクフェニル
61	特開公開 2012-79537	照度分布算出プログラム
62	特開公開 2012-75670	カフ電極
63	特許公開 2012-001402	電気抵抗材料
64	特許公開 2011-254836	人工腐植土の製造方法及びその人工腐植土による緑化工法
65	特許公開 2011-252786	細胞内脂肪球イメージング方法、イメージング用蛍光剤およびイメージング蛍光剤製造方法
66	特許公開 2011-252198	透明導電薄膜用ターゲット材およびその製造方法
67	特許公開 2011-239545	D C - D C コンバータ
68	特許公開 2011-193820	乳酸菌、乳酸菌選抜方法、および、発酵食品
69	特許公開 2011-193790	家畜管理方法
70	特許公開 2011-188958	シェーグレン症候群及びドライマウスの治療器並びにドライアイの治療器

5 知的財産（特許）

71	特許公開 2011-171456	半導体装置、および半導体装置の製造方法
72	特許公開 2011-135797	果実又は野菜の養液栽培方法
73	特許公開 2011-126985	チタン酸バリウム系蛍光物質
74	特許公開 2011-055958	発情期診断システム、発情期診断方法、および発情期診断プログラム
75	特許公開 2011-055733	土壌改質方法および炭素固定方法
76	特許公開 2011-055580	共振型電力変換装置
77	特許公開 2011-050498	内視鏡
78	特許公開 2011-006266	B a T i ₂ O ₅ 系強誘電性セラミックス製造方法
79	特許公開 2011-000086	集草装置
80	特許公開 2010-282530	2次元バーコード並びにその読取システム及び生成システム
81	特許公開 2010-246760	光照射装置及び毛の処理方法
82	特許公開 2010-234497	チップソー用のチップ
83	特許公開 2010-215450	チタン酸バリウム系結晶の製造方法
84	特許公開 2010-209602	堤体表層部の被覆構造
85	特許公開 2010-183860	常温型アスパラギン酸脱水素酵素およびL-アスパラギン酸製造方法
86	特許公開 2010-150188	排便促進用組成物
87	特許公開 2010-148398	人工腐植土の製造方法
88	特許公開 2010-117180	接地不良検知器
89	特許公開 2010-96685	片手持ち搾乳器
90	特許公開 2010-057743	骨部位用ネジ
91	特許公開 2010-040724	熱電変換材料
92	特許公開 2010-013309	アナターゼ型酸化チタンおよび透明導電薄膜
93	特許公開 2010-004704	D C - D C コンバータ
94	特許公開 2010-004703	スナバ回路付きD C - D C コンバータ
95	特許公開 2009-262037	排水処理装置および吸着材の再生方法
96	特許公開 2009-261136	双方向D C - D C コンバータ
97	特許公開 2009-261135	電流制御型D C - D C コンバータ
98	特許公開 2009-260321	n型亜鉛アンチモン系化合物熱電半導体
99	特許公開 2009-202125	汚水処理水の脱色方法及び脱色用部材の再生方法
100	特許公開 2009-172265	多点電極
101	特許公開 2009-147098	半導体多結晶薄膜及び半導体装置
102	特許公開 2009-141457	可逆圧縮用符号化システム及び情報媒体
103	特許公開 2009-76619	耐熱衝撃性電磁波シールド材およびその製造方法
104	特許公開 2009-065942	ブルーベリーの挿し木用培養土及び栽培方法
105	特許公開 2009-059235	ユーザ認証システム
106	特許公開 2009-046356	酸化亜鉛ナノクリスタルおよびナノコンポジット
107	特許公開 2009-027991	走行型刈取機
108	特許公開 2009-011969	貝分別方法
109	特許公開 2009-011517	膝蓋骨測定装置
110	特許公開 2008-297998	風力発電装置
111	特許公開 2008-285339	セラミックス膜、発光素子及びセラミックス膜の製造方法
112	特許公開 2008-246144	毛成長調節方法及びその装置

5 知的財産（特許）

113	特許公開 2008-244387	酸化亜鉛系発光素子
114	特許公開 2008-241551	汎用的高感度E L I S A法およびその試薬キット
115	特許公開 2008-239456	機能性チタン酸ストロンチウム結晶およびその製造方法
116	特許公開 2008-233051	電気泳動用バッファ及び電気泳動法
117	特許公開 2008-224420	光ファイバ照明装置
118	特許公開 2008-222591	表面がアルキル基またはアリール基で修飾された金属リン酸塩ナノ体、その製造方法およびその用途
119	特許公開 2008-211984	土壌管理方法
120	特許公開 2008-185363	水中環境汚染物質の簡易定量方法及び簡易定量測定具
121	特許公開 2008-184794	段差緩衝構造
122	特許公開 2008-184420	新規有害生物防除剤
123	特許公開 2008-100907	吸着用木炭の製造方法
124	特許公開 2008-029811	毛成長調節方法及びその装置
125	特許公開 2008-001962	耐酸化材料及び耐酸化材料の製造方法
126	特許公開 2008-000129	形質転換イネ、血圧降下をもたらす米、および、イネ用ベクター
127	特許公開 2007-326768	K Fを含有するチタン酸バリウム系圧電体またはその製造方法
128	特許公開 2007-307090	内視鏡、内視鏡アタッチメント、および、内視鏡装置
129	特許公開 2007-245327	切削用チップおよび切削工具、並びに切削用チップの作製方法
130	特許公開 2007-236350	脳卒中を発症しにくいSHRSP系ラット
131	特許公開 2007-229271	生体組織接着性医療器具
132	特許公開 2007-229270	生体組織接着装置
133	特許公開 2007-216192	ヘドロ処理方法
134	特許公開 2007-195571	骨接合用骨製ネジ
135	特許公開 2007-156857	対話型インターフェース方式および対話型インターフェース用プログラム
136	特許公開 2007-153736	安定化ジルコニア繊維製造方法、および、安定化ジルコニア繊維
137	特許公開 2007-118152	ブローチ加工装置
138	特許公開 2007-117099	グルタミン酸脱炭酸酵素、グルタミン酸脱炭酸酵素をコードするDNA、グルタミン酸脱炭酸酵素が発現可能な形態で導入された微生物、グルタミン酸脱炭酸酵素の製造方法、および、トランスジェニック植物
139	特許公開 2007-054256	被処理液のウィルス失活方法
140	特許公開 2006-345784	濾過食性二枚貝の飼育方法、濾過食性二枚貝の飼育システム、濾過食性二枚貝を用いた汽水の浄化方法、および、濾過食性二枚貝を用いた汽水の浄化システム
141	特許公開 2006-334704	マイクロミリングシステムの制御方法
142	特許公開 2006-334703	マイクロミル
143	特許公開 2006-308433	土壌水移動速度導出方法および土壌水移動速度測定装置
144	特許公開 2006-303427	熱電半導体材料の製造方法
145	特許公開 2006-254795	アスパラギン酸脱水素酵素、アラニン脱水素酵素、L-アスパラギン酸製造方法、および、D-リンドゴ酸製造方法
146	特許公開 2006-239825	立旋盤
147	特許公開 2006-231476	チャック
148	特許公開 2006-225442	蛍光性ジアザアントラセン類および蛍光性ジアザアントラセン類合成方法

5 知的財産（特許）

149	特許公開 2006-212019	植物を用いたユビキノン-10の製造方法
150	特許公開 2006-205096	塩類を含む土の除塩方法
151	特許公開 2006-175130	骨接合術用具
152	特許公開 2006-147866	炭化珪素薄膜の成膜方法
153	特許公開 2006-126083	即時型小麦アレルギーの診断方法
154	特許公開 2006-094803	T-RFLPをもちいた微生物群集構造の解析方法
155	特許公開 2006-076866	シリカ多孔体結晶の製造方法
156	特許公開 2006-075815	脱窒脱リン用成型体及び汚水・排水の脱窒脱リン処理方法
157	特許公開 2006-064413	比熱および熱伝導率の測定方法。
158	特許公開 2006-061063	脱色活性を有するペルオキシターゼ、当該ペルオキシターゼをコードするDNA、当該ペルオキシターゼが発現可能な形態で導入された微生物、および、脱色剤の製造方法
159	特許公開 2006-028086	クエルセチン3- α -(6- α -マロニル)グルコシドを有効成分として含む医薬組成物およびクエルセチンマロニルグルコシドを含有する食品
160	特許公開 2006-025867	手術用縫合糸
161	特許公開 2005-306632	ゼオライトの合成方法
162	特許公開 2005-176748	後作植物判定方法および植物の連続栽培方法
163	特許公開 2005-060145	酸化亜鉛超微粒子および酸化亜鉛超微粒子の製造方法
164	特許公開 2005-000326	トレッドミルおよびトレッドミルの使用方法。
165	特許公開 2005-000091	根菜類の水耕栽培法
166	特許公開 2004-290069	グルタミン酸脱炭酸酵素、グルタミン酸脱炭酸酵素をコードするDNA、グルタミン酸脱炭酸酵素が発現可能な形態で導入された微生物、グルタミン酸脱炭酸酵素の製造方法、および、トランスジェニック植物
167	特許公開 2004-285127	炭製造方法および炭
168	特許公開 2004-276228	酸素富化による雰囲気制御切削方法及び切削工具
169	特許公開 2004-267140	水耕栽培方法
170	特許公開 2004-264902	セッション開始方法、アイコン画像作成装置、セッション開始プログラムおよびアイコン画像作成プログラム
171	特許公開 2004-231500	チタン酸バリウム結晶、コンデンサ、光スイッチおよびFRAM
172	特許公開 2004-112882	突入電流抑制方法
173	特許公開 2004-089097	グルタミン酸脱水素酵素、グルタミン酸脱水素酵素をコードするDNA、グルタミン酸脱水素酵素が発現可能な形態で導入された微生物、および、グルタミン酸脱水素酵素の製造方法
174	特許公開 2004-040054	酸化亜鉛系薄膜の成長方法

[J-STORE、開放特許情報データベース登録件数]

	平成 27 年度登録	累計
J-STORE	7 件	97 件
開放特許情報データベース	7 件	95 件

6 平成27年度産学連携センターに関する報道・主な記事

当センターの活動や産学連携の活動が、新聞などで記事として取り上げられています。

平成27年度に報道機関に取り上げられた主な記事を、以下に紹介します。

【産学連携センターに関係したもの】

日付	誌名	見出し	内容
7/1	山陰経済ウィークリー	「炭八」ぜんそくやアトピーを軽減 島大との共同開発が道開く	北村寿宏 教授が関係した連携活動について
7/11	山陰中央新報	大学発E Vベンチャー	丹生晃隆 准教授が関係した連携活動について
7/14	化学工業日報	海水から効率回収	当センターが産学連携を進めている総合理工学研究科 笹井 亮 准教授の研究について
8/25	読売新聞	再生炭 科学の目で開発	北村寿宏 教授が関係した連携活動について
10/22	山陰中央新報	県学生児童発明くふう展	阿久戸敬治 教授が審査委員を務めた県学生児童発明くふう展について
11/17	山陰経済ウィークリー	出雲神話を表現したコース料理「神話食」	丹生晃隆 准教授が関係する連携活動について
12/13	山陰中央新報	大学・高専の「知」の結集 松江で「しまね大交流会」企業含む 230 団体情報交換	当センターが出展した事業について
3/8	山陰経済ウィークリー	「ルビー」生かした松江市の取り組み	丹生晃隆 准教授が関係した連携活動について
3/	山陰経済ウィークリー	食品は「寝かせる」となぜうまくなる 島大が 6 次産業化の研究報告会	丹生晃隆 准教授が関係した連携活動について

産学連携センター地域産業共同研究部門は平成26年現在で下記の実験装置を常置機器として設置しております。

[原子間力／磁気力顕微鏡]

物質の表面および磁気構造を高分解能で観察する装置です。大気中観察タイプで観測できる試料サイズは $100\phi \times 10\text{mm}$ の大きさまで。また、金属、半導体、有機物など対象を選ばず観測できます。観察最大範囲は $100 \times 100\mu\text{m}$ です。



[走査型電子顕微鏡]

物質の表面構造を高分解能で観察する装置です。観察有効倍率約5万倍。現在までのところ、産学連携センター地域産業共同研究部門は表面を金などでコーティングするための蒸着装置やスパッタ装置を持っておりませんので、絶縁物の観察は、あらかじめコーティングをご自分でお願いします。



島根大学産学連携センター(松江地区)

平成27年度年報 通巻第20号

2016年12月 発行

編集 島根大学産学連携センター(松江地区)

〒690-0816 松江市北陵町2番地 TEL 0852-60-2290 FAX 0852-60-2395

E-mail crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp URL <http://www.crc.shimane-u.ac.jp/>

